



阿市建第 113 号  
平成19年4月27日

国土交通省道路局長 様

阿蘇市長 佐藤 義典



中期的な計画の策定にあたっての意見の提出について（回答）

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より地方行政についてご理解ご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありました、標記の件について別紙のとおり回答します。

今後とも道路行政につきましてご指導ご支援よろしくお願いいたします。

担当者：阿蘇市土木部建設課  
建設課長 津留 勝幸  
TEL0967-22-3111（内線 1262）  
Fax0967-22-4381

中期的な計画の策定に当たって今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

《熊本県阿蘇市》

○重点化を進める上で特に優先度の高い政策

・循環型ネットワークを形成し地域の交流連携を強化する道路の整備

本市は九州のほぼ中央、九州縦貫自動車道及び東九州自動車道等の高速道路の谷間に位置している。熊本大分間を結ぶ広域幹線道路は国道57号のみであり、地域の連携交流が図りにくい現状がある。さらに平成2年の梅雨前線災害では1ヶ月の長きにわたり全面通行止めとなるなど、広域幹線機能の確保に大きな問題を抱えている。今後安心して暮らせる国土づくりと、個性ある地域の発展を目指すため、九州循環型ネットワークを形成し交流連携を強化する必要がある。そのためにも早急に地域高規格道路「中九州横断道路」などの質の高い道路の整備が必要である。

・地域活性化や物流のため地域を結ぶ道路の整備

本市は国際観光地阿蘇山をはじめとする自然を生かした観光等の地域づくりを行っているが、国道57号等の幹線道路は休日のみならず恒常的な渋滞に悩まされている。その影響は観光客だけでなく、地域住民の生活及び緊急搬送の40%以上に及ぶ熊本市等への管外搬送や救急医療等にも影響し問題となっている。解決のためには国道57号の4車線化をはじめとする幹線道路の整備が急務である。

・地域の情報発信や都市住民と地域住民の交流及び産業振興を支援する施設の整備

本市には年間約500万人の観光客が訪れている。しかし旅行形態の変化等により、年々通過型の観光となり宿泊者は減少するとともに幹線道路の渋滞を招いている。解決のためには幹線道路整備の必要性は前述のとおりであるが、地域内滞留を進め地域づくりと産業振興を支援し、地域の情報を発信するとともに、都市住民と地域住民の交流を促進する道の駅等休憩交流施設の整備充実を図る必要がある。

・通勤や通院などの地域住民の日常生活を支える生活幹線道路の整備

本市は平成17年に3町村で合併を行ったが、376平方キロメートルと熊本県下で4位の広大な面積を有している。市内を貫く幹線道路は国道57号のみであり、休日ともなれば地域住民の交通もままならない現状がある。町村合併後の地域内の交流の円滑化、利便性向上を図るため市内を縦貫する阿蘇市幹線道路及びそれに接続する幹線市道の整備を早急に行う必要がある。

- ・安全安心して暮らせる生活道路の整備

住民の暮らしに密着した生活道路については、歩道が整備されている路線はほとんどないばかりか、幅員が狭小で緊急車両の通行に支障がある道路も多い。安全で安心して暮らせる道路の整備が必要である。

- 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ・事業のスピードアップを図り早く効果を発揮してほしい。
- ・事業の実施にあたって、住民の考えや意見が反映されるような取組みをしてほしい。

- その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

- ・公共交通機関が未整備な地方にとって、自動車は住民の生活を行なううえで必要不可欠である。地方の道路整備はまだまだ行き届いていない現状があり、道路特定財源については受益者負担の原則に則り、地方の道路整備を重点的に進めていただきたい。
- ・市の管理する道路橋梁は急速に老朽化している。特に橋梁については架け替えや大規模改修などの時期であるが、市の財政では適切な管理が出来ない状況であるため、財源面や技術面での積極的な支援をお願いしたい。